

県内製造業

生産性向上へIT駆使

無人稼働、作業データベース化...

製造現場の人手不足が深刻化する中、県内の中小企業が情報技術(IT)を活用し、生産の自動化や効率化を進めている。工具を自動で交換するシステムの開発や、技術者の経験や感覚に頼っていた作業をデータベース化することで誰でも加工できるようにしたシステムの導入など、内容は多岐にわたる。本県の基幹産業である製造業の生産性向上は重要な課題で、県立産業技術センターが支援に力を入れている。



ITによる作業の標準化で幅広い人材の活用が進む鈴木工業

けるシステムを導入。技術者がおのおのの知識や経験に基づいて入力していた工具の回転数や、素材に当たる面積などの加工条件をデータベース化し、工具や加工したい形を選択するだけで済むようにした。

導入費用を 渋川市補助

バス・タクシー業者に財政支援
バス・タクシー業者が対象。補助対象の経費は、容器や割り箸などの消耗品購入費、キッチンカーの購入費、リース、宅配用バス...

高崎のクオリコがインターン
学生へ営業職の魅力
クオリコは28日、営業職に関する学生を対象にしたインターンシップを同市のヒエント高崎で開いた。



店群馬の営業担当社員が講師を務め、大学3年生を中心とした16人が参加。講師を相手に、学生が4人1組でパソコンや防災グッズなどの創造性などが求められる営業職の奥深さや魅力に触れ、「ノルマが厳しい印象だったが、クリエーティブだと分かった」など感想を述べた。

「霧」で除菌、消臭

藤田エンジニアリング 催事場で需要見込む

建設工事などを手掛ける藤田エンジニアリング(高崎市飯塚町、藤田美社長)は、除菌・消臭装置「バイバイキング」の新シリーズ「トランスフォーマー」の販売を開始した。エアージャワー型装置の改良型で、従来品よりも容易に設置できる。不特定多数が集まるイベント会場や交通機関、医療機関などでの需要を取り込む。



イベントで使われた「バイバイキング トランスフォーマー」=7月、高崎市

除菌・消臭効果のある弱酸性次亜水を約20分の霧状にして噴霧する。複数人に同時噴霧するボックスタイプと、通過の人に噴霧するトネル型があり、状況に合わせて形態を組み替えられる。噴霧時間は1〜60秒で切り替え可能。メンテナンスの負担を軽くするため、さびにくいステンレス製にした。

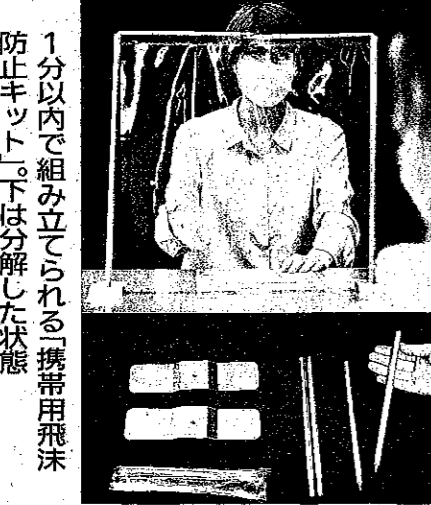
持ち運びできるパーティション
青木製作所が発売
車両用フォグラフィックを手に掛ける青木製作所(高崎市倉賀野町、青木敬祐社長)は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、外回りの商談や会食に持ち運びできるパーティション「携帯用飛沫防止キック」を発売した。



最大20%還元
ペイペイ決済
沼田市は31日、スマートフォン決済サービス「ペイペイ」と連携した消費活性化キャンペーンを始める。対象は市内の飲食店、小売店など。対象店舗でペイペイを使って支払うと、金額の最大20%のポイントが還元される。

同社は3月から据え置き型パーティションや消毒液用の台などを製品化。「社会のために何かしたいと考え、車両用製品開発で培っ

1分以内で組み立てられる「携帯用飛沫防止キック」。下は分解した状態



市は「新型コロナウイルス」が...